

Local Relationship 地縁を深める 地域の広報紙

顔の見える広報紙が
助け合える地域づくりにつながる



川西小学校区コミュニティ推進協議会 広報部会長 松江きみこさん

「『あの子、小さくない?』って気になって。すかさず声を掛けてカメラを向けました」リレーのゼッケンを着けた少年。撮影したのは、川西小学校区コミュニティ推進協議会で広報部会長を務める松江きみこさんです。

「体育祭で、おとなに1人交じって走っていたのは5歳の男の子。その子の自治会からは、競技に出られる人が他にきていなかったんです。この光景を見て、行事に参加する人が減っていると改めて感じました。地域の皆さんにもっと知ってほしくて『ComSat(コムサット)』に掲載しました」

同協議会が発行してきた広報紙「ComSat」。市の地域づくり一括交付金を活用して、昨年、2色刷りからフルカラーに一新。これまで自治会の会員にだけ配布していたのを、校区の全戸配布に変えました。活動情報を届ける人が増え、編集する広報部会員にも力が入ります。

「地域の広報紙は地縁、つまり地域の人間関係を深めるきっかけになると思うんです。紙面には、コミュニティの活動に関わる人の写真を載せるようにしています。読者が写真を見て、関わる人や活動を知ってくれたら、それは一つの縁。困った時にご近所で助け合うための第一歩になると思います」

広報紙やイベントが、住人同士で顔見知りになり、支え合う関係を築くためのツールになればとの思いで、紙面を作成しています。

松江さんは、多くの人がコミュニティとの関わる方法を模索しています。

「できるだけ各行事の担当者に写真提供をお願いしているんです。全部撮りに行きたいところですが、あえて『ほどほどにしておく』ことにしています」と松江さん。今後は、役員の負担を減らしていくことが必要だと話します。

「自分ができるからといって、次の人が同じようになれるか分かりません。負担が増えると、誰もやりたがらないですよ。長く、それが重要だと思っんです」

日中は働いている人でも、参加しやすくなるための工夫。地縁を受け継ぐため、地域の新しい担い手を待っています。



チンゲン菜のミルク煮

牛乳を使った、お手軽洋風煮物

人権啓発シリーズ

生きる 人権推進室 ☎(740)1150

「女らしさ」と「男らしさ」の生きづらさ

LGBTもセクシュアルマイノリティも
誰かではなく私たちの問題

ごきげんよう。戸籍上は男性の女性弁護士、仲間しゅんです。

さて、このコラムも今回で最終回となりました。このコラムでは、これまで主にLGBTやセクシュアルマイノリティの問題についてお話してきましたが、最後に皆さんにお伝えしておきたいのは、そういった問題は、社会の一部の人たち「だけ」の問題ではないということです。

性に関する問題というのは、女性にとっての生きづらさ、男性にとっての生きづらさという形で、程度の差はあれ、きっと多くの人がどこかで経験したことがあるものです。「女らしくしなさい」。そう言われて、自分のやりたいことを我慢したことのある方はいませんか? 「男なんだから泣くな」。そう言われて、自分の気持ちを正直に表現できなかった方はいませんか? セクシュアルマイノリティへの差別問題も、そういった生きづらさの延長線上にあるものです。「誰か」の問題ではなく、「私たち」の問題です。

さて、1年間このコラムを担当してきましたが、今、私は弁護士として、さまざまな背景を持つ人々から、さまざまな相談や依頼を受けています。その中ではやはり、社会の不平等が濃く反映された事件や、まだ法律が行き届いていない分野があることも実感しています。

法律は社会の在り方を反映します。少しでも自由に生きられる社会になるよう、今後も皆さんと一緒に頑張れたらと思っています。

それでは、またどこかでお会いしましょう。
(なにわばし国際合同法律事務所 弁護士 仲間しゅん)

おとな子どもも
食と育つ

保健センター
☎(758)4721

レシピ 大阪青山大学

●材料 (おとな4人分)

- チンゲンサイ 400g(大3株)
- 貝柱(イカやエビなど代用可) 200g
- ベーコン・ホールコーン 各40g
- サラダ油 大さじ1
- 牛乳 200ml
- 塩・こしょう 少々
- 片栗粉 小さじ1弱

熱量(1人分): 173kcal、塩分: 1.0g

●作り方

- チンゲンサイは株を4~6等分する。貝柱はよく洗い、大きいものは表面に2、3カ所切れ目をいれておく。
- サラダ油を熱したフライパンで、ベーコンをカリカリになるまで炒め、①を加えてさらに炒める。
- 塩・こしょうで味付けし、水50mlを加えてふたをする。
- 具材がやわらかくなったらホールコーンと牛乳を加え、倍量の水で溶いた片栗粉を回し入れ、とろみをつける。

消費生活センターだより

消費生活センター
☎(740)1167

ウォーターサーバーの契約は慎重に

実態は水の定期購入!
無料レンタルなのに解約料が必要

事例1 半年前、スーパーでウォーターサーバー(以下「サーバー」)の宣伝をしていたので申し込んだ。サーバーのレンタルは無料だが、水を毎月24ℓ(3,600円)買わなければならない契約だった。しばらくして「水が高額」と感じ、解約を申し出たら「1年以内の解約はサーバー引き取り料5,000円と解約料1万2,000円が必要」と言われた。契約時にそんな説明はなく、契約書にも書いていない。(40歳代 女性)

事例2 コンビニの前で、抽選会でくじが引けると声を掛けられた。2等のサーバーが当たり「通常はレンタル料や年会費がかかるが無料」と言われた。子どものミルクを作るのに良いと思い申し込んだ。毎月4ℓボトルが4本(4,980円)配達されてきたが、数カ月したら水が余りだした。「配達を休止できる」と言われたので2カ月止めた。「今月も止めたい」と伝えたら、「休止が3カ月目になると休止料が毎月1,080円必要」と言われた。水が配達されないのに休止料を払うのは納得できない。契約書はなくした。(30歳代 女性)

事例1は、業者から「契約時の説明不足や契約書の記載不備などがあつたと思われるので無償で解約します」という回答がありました。事例2は、契約書にどのような記載があるのか現在確認中です。サーバーは無料レンタルでも、水の定期購入が契約条件だった、水の代金が高額だった、解約料が必要だったなどの苦情が寄せられています。「当選した」「無料です」と言われても、その場で契約せずに十分検討してください。契約してもクーリング・オフ(無条件解約)できる場合もあるので消費生活センターに相談してください。

市政情報

求人・募集

催し・鑑賞

案内セミナー

ごみカレンダー

スポーツ公民館

健康・福祉
中央図書館

相談の案内

高齢者

子育て

コラム

ニフオース

